

令和7年度 第2回 部活動の在り方研究及び 地域連携・地域展開に関する有識者会議

大阪市教育委員会事務局指導部 保健体育担当

- 1 令和7年度部活動の地域移行モデル事業報告
および今年度の取組
- 2 「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の策定を受けて
- 3 来年度に向けて

1 令和7年度部活動の地域移行モデル事業報告 および今年度の取組

1-① 休日の地域移行(展開)モデル事業

4

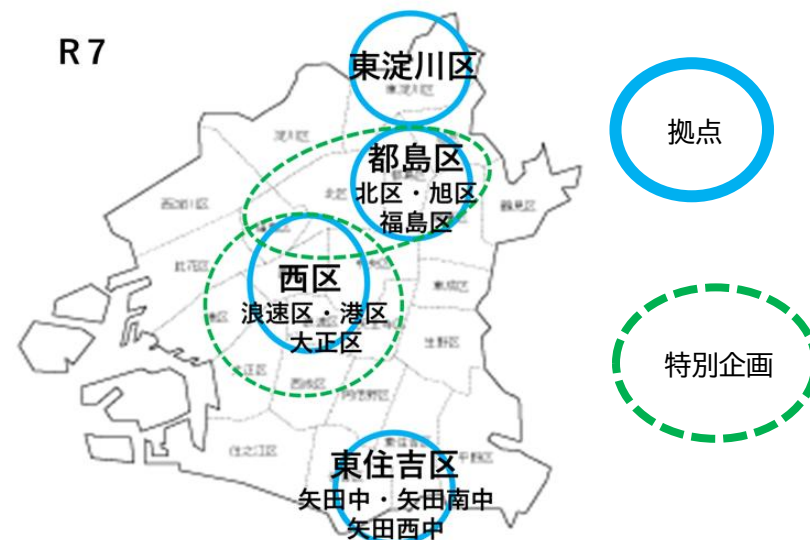
	R3	R4		R5	R6	R7
事業名	スポーツ庁 地域部活動推進事業 「桜宮スポーツクラブ」	スポーツ庁 地域部活動推進事業 「桜宮スポーツクラブ」	経産省 未来のブカツ実証研究 「市内拠点モデル」	スポーツ庁 地域スポーツクラブ活動 体制整備事業 「民間事業者モデル」	スポーツ庁 地域スポーツクラブ活動 体制整備事業 「民間事業者モデル」	スポーツ庁 地域スポーツクラブ活動 体制整備事業 「民間事業者モデル」
実施地域	1区(都島区全5中)	1区(都島区全5中)	3区 ・西 区 全3中 ・東淀川区 3/8中 ・東住吉区 3/7中	4区 ・都島区 全5中 ・西 区 全3中 ・東淀川区 3/8中 ・東住吉区 3/7中	4区 ・都島区 全5中 ・西区全3中+中之島中 ・東淀川区 3/8中 ・東住吉区 3/7中	4区 ・都島区 全5中 ・西区全3中+中之島中 ・東淀川区 3/8中 ・東住吉区 3/7中
実施拠点等	桜宮高等学校	5中学校(単独校型) 5中学校(複数校型) 桜宮高(都島区+北区・ 福島区・旭区)	各区(近隣複数校)	各区(近隣複数校) 都島区【特別企画】 桜宮高+都島区+北区・ 福島区・旭区	各区(近隣複数校) 都島区【特別企画】 都島区.北区.福島区.旭区 西区【特別企画】 西区.浪速区.大正区.港区	各区(近隣複数校) 都島区【特別企画】 都島区.北区.福島区.旭区 西区【特別企画】 西区.浪速区.大正区.港区
実施コマ数 (1コマ2時間程)	10	41	8	102	210	320
実施者	教育委員会事務局	教育委員会事務局	教育委員会事務局 大阪成蹊大学	民間事業者へ委託 リーフラス	民間事業者へ委託 コナミスポーツ スポーツデータバンク	民間事業者へ委託 コナミスポーツ スポーツデータバンク
指導者	オリンピック + 高校教員	オリンピック等 トップアスリート + 高校教員・部活動指導員・ 兼職兼業教員	トップアスリート 部活動指導員	民間事業者雇用指導者 ※桜宮SC オリンピック等トップアス リート・高校教員	民間事業者雇用指導者 ※SAKURA.SC オリンピック等トップアス リート・高校教員	民間事業者雇用指導者 ※SAKURA.SC オリンピック等トップアスリ ート・高校教員

令和7年度 事業の概要について

拠点	都島区：高倉中・桜宮中・都島中・淀川中・友渕中 西 区：西中・花乃井中・堀江中・中之島小中一貫 東住吉区：矢田中・矢田南中・矢田西中	東淀川区：瑞光中・井高野中・大桐中
期 間	6月頃から活動スタート～令和7年12月末まで	6月頃から活動スタート～令和7年12月末まで
実 施	80コマ(種目×回数)へ拡充 都島区・西区において特別企画10コマ 特別企画【SAKURAクラブ】 …拠点の近隣区にも対象を広げて募集するプログラム 都島区：都島区・北区・旭区・福島区 西 区：西区・浪速区・大正区・港区	80コマ(種目×回数) 今年度より、水泳とフィジカルトレーニングについては東淀川区全中学校を対象とした (会場：コナミスポーツクラブ上新庄)
受注者	スポーツデータバンク株式会社	コナミスポーツ株式会社

拠点共通

指導者	各種目2名体制とし、民間事業者による社員や地域人材の配置か、本市の部活動指導員や地域クラブでの指導を希望する本市の兼職兼業教員。
種 目	各校で休日の部活動指導に困っている種目や、シーズン制の実施種目やレクリエーションなど新たな種目も検討する
対象生徒	対象中学校に在籍する生徒の希望者 ※特別企画や種目により、近隣区および近隣校を含む場合あり



1-③ R7 部活動地域移行(展開)モデル事業 実施種目詳細

6

R7 実施種目

全53種目

運動38種目

文化芸術15種目

区・種目数	令和7年度 実施種目							
東淀川 6	水泳①		水泳②		ダンス		卓球	
	トレーニング		ギター					
都島 12 SAKURA クラブ 5	水泳		ダンス		卓球		トレーニング	
	硬式テニス		ボッチャ		漫画・イラスト		書道	
	【特別企画】 SAKURAクラブ		水泳		男子バレー		e-スポーツ	
西 13 SAKURA クラブ 5	ダンス		卓球		トレーニング		バドミントン	
	書道		軽音楽		漫画・イラスト		合唱	
	【特別企画】 SAKURAクラブ		陸上		バスケットボール		ボッチャ	
東住吉 12	ダンス		少林寺拳法		トレーニング		サッカー	
	バスケットボール		女子バレーボール		ピククルボール		書道	
							漫画・イラスト	



ギター



バドミントン



バレーボール



陸上競技



e-スポーツ



フィジカルトレーニング



水泳



書道



漫画・イラスト



少林寺拳法



卓球



ダンス



e-スポーツ



ダンス



テニス



ボッチャ

【都島区 特別企画】SAKURAスポーツクラブの活動



男子バレーボール



ボート



みんなの水泳教室



「新しい地域クラブ」 10月のご案内



水泳

水泳の魅力

全身運動／水の浮力と抵抗によって有酸素運動＋筋トレの両方の効果を得られる。消費カロリーが高くダイエットや、引き締まった身体づくりにも効果的。
泳げる安心／水難事故の予防にもつながる、身につけておきたいスキル。
生涯スポーツ／年齢を問わず長くできる水泳は健康維持やリハビリにも効果的。

水泳

《場所》コナミスポーツクラブ 上新庄

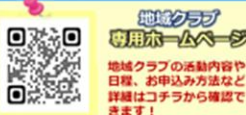
《時間》15:00～17:00

日程

① 10/5(日) ③ 10/19(日)

② 10/12(日) ④ 10/25(日)

▼申込みはコチラ▼



参加費・保険料は無料です

地域クラブとは

- 有資格者や専門性の高い指導者による指導が受けられる
- 初心者～上級者等のレベル別クラスのため、自分のペースで学習できる
- 様々なスポーツ・文化芸術活動を自由に選択し何度でも参加できる

大阪市教育委員会「令和7年度 部活動の地域移行モデル事業」

委託業者/ コナミスポーツ株式会社

令和7年度部活動の地域移行モデル事業

2025 あたらしい地域クラブ

OSAKA 都島区

「実はやってみたいけど」「やってみようかな」と、自分の「やりたい」を体験できる地域クラブ活動です！
経験者の方も未経験者の方もぜひご参加ください！

お問い合わせは
各プログラム
20～40名程度
会場
学校施設または
公共・民間施設等
お問合せ
公式LINE
お問合せフォーム

各プログラム開催日 1週間前～2日前まで！
※各プログラムに応じて異なります。※応募者数が定員を超えた場合には、期間中であっても申込締切・抽選を行っていただきます。

応募方法(スマートフォンで簡単！)

- 応募方法：専用 web サイト内、申込フォームから申込ください。
- 対象学校：高倉中学校・桜宮中学校・都島中学校・淀川中学校・友誼中学校に在籍する生徒のうち希望する生徒
- 指導者：部活動指導員、兼職教員、各種スポーツ・文化団体等

地域クラブ活動の留意事項

- ① 本事業はスポーツ安全確保への取り組みの一環として、必ず申込が必要となります。参加をご希望の方は申込フォームより申込参加をお願いします。
- ② 応募者多数の場合は抽選となります。
- ③ 各プログラムは1回から参加いただくことが可能です。
- ④ 持ち物や服装はプログラムによって異なります。詳しくは専用 web サイトをご覧ください。
- ⑤ 往復の移動は徒歩、公共交通機関等をご利用ください。
- ⑥ 会場以外から参加する生徒は、ご自身の判断により自転車を利用いただくことが可能です。ヘルメットを着用の上、安全運転をお願いします。
- ⑦ 保護者のご見学も可能です。
- ⑧ 一部会場によっては、お申し込みの都合がございします。詳しくは web サイトをご覧ください。
- ⑨ 本事業では、毎回の参加回に簡単なアンケート調査を実施させていただきます。ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

主催 大阪市教育委員会 運営 スポーツデータバンク株式会社

PICK UP Activities

経験でもOK! 楽しくプレイしよう!

集中力UP! 自分の字が好きなになる。



予定回数：4回 / 会場：都島中学校サブグラウンド
指導者：NPO法人VABBO KIDS 他
3回目：11/30(日)13:00-16:00
4回目：12/14(日)13:00-16:00



実施予定回数：7回 / 会場：都島中学校
指導者：大阪市部活動指導員 ほか
5回目：11/16(日)9:30-11:30
6回目：12/7(日)9:30-11:30
7回目：12/21(日)13:30-15:30

種目	実施予定回数	活動日程	実施場所	指導者
野球	5	4回目：11/16(日)13:30-15:30 5回目：12/14(日)13:30-15:30	都島中学校 体育館	尼崎球場 他
囲碁	3	3回目：12/13(日)9:30-11:30	桜宮高校 柔道場	桜宮高校
バスケットボール	6	4回目：11/9(日)13:00-16:00 / 5回目：11/30(日)13:00-16:00 6回目：12/21(日)13:00-16:00	都島中学校本館グラウンド	ノアインダスタージ
剣道	4	3回目：11/22(土)14:00-16:00 4回目：12/13(土)14:00-16:00	都島中学校サブグラウンド	大阪プラスカAC
水泳	5	5回目：11/24(月祝)15:00-18:00	コナミスポーツクラブ京橋店	インストラクター 他
ダンス	7	5回目：11/9(日) 9:30-11:30 / 6回目：11/30(日) 9:30-11:30 7回目：12/13(日) 9:30-11:30	都島中学校 多目的室	UNO DANCE STUDIO
テニス	7	6回目：11/8(土)9:30-11:30 7回目：12/20(土)9:30-11:30	都島中学校 多目的室	パートナーレーナー 他
トランプ	5	3回目：11/8(土)9:30-11:30 / 4回目：11/23(日)9:30-11:30 5回目：11/29(土)9:30-11:30	桜宮共同館	桜宮高校
将棋	5	3回目：11/11(土)15:00-17:00 / 4回目：11/22(土)10:00-12:00 5回目：11/29(土)10:00-12:00	都島中学校 多目的室	愛媛ボッチャ協会
イラスト	7	5回目：11/9(土)9:30-11:30 / 6回目：12/9(土)9:30-11:30 7回目：12/21(日)9:30-11:30	都島中学校 多目的室	筑波プロダクション
プログラミング	7	5回目：11/11(土)9:30-11:30 / 6回目：12/7(日)9:30-11:30 7回目：12/26(金)9:30-11:30	中之島中学校 4F PC 教室	キッズプログラミング教室 さくら
スポーツ	6	3回目：11/8(土)9:30-11:30 / 4回目：11/29(土)9:30-11:30 5回目：12/6(土)9:30-11:30 / 6回目：12/20(土)9:30-11:30	中之島中学校 4F PC 教室	チェリアス プログラミングスクール
のり	1	11/3(月祝) 15:00-16:30	コナミスポーツクラブ京橋店	千葉 すずこ 他

新しい地域クラブの参加方法

01 申込は専用 web サイト内、申込フォームから申込ください。

02 対象学校：高倉中学校・桜宮中学校・都島中学校・淀川中学校・友誼中学校に在籍する生徒のうち希望する生徒

03 指導者：部活動指導員、兼職教員、各種スポーツ・文化団体等

お問い合わせ先

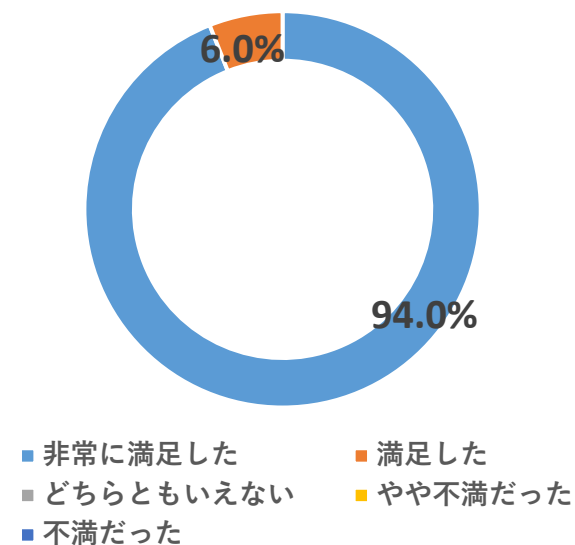
主催 大阪市教育委員会 運営 スポーツデータバンク株式会社

種目名	実施回数	瑞光中	井高野中	大桐中	新東淀中	東淀中	柴島中	淡路中	中島中	合計
										参加人数
水泳①	14回	42名	25名	180名						247名
水泳②	24回	53名	4名	51名	21名	16名	1名	0名	0名	146名
フィジカルトレーニング	17回	33名		15名	4名	1名	1名	0名	0名	54名
ダンス	12回	3名	2名	6名						11名
卓球	11回	6名	15名	0名						21名
クラシックギター	3回	3名	0名	0名						3名
合計	81回	140名	46名	252名	25名	17名	2名	0名	0名	482名

数値はのべ人数

東淀川区は事業者が保有している室内プールや室内アリーナを活用した活動を中心に実施した。水泳は昨年同様、レベル別・目的別に2つのコースを設定し初心者から上級者までの募集を行い多くの生徒が参加した。初心者向けの「水泳②」および基礎体力の向上や筋力トレーニングを行う「フィジカルトレーニング」は東淀川区内の全中学校8校を対象に募集を行い実施した。卓球・クラシックギターは学校施設・備品を使用し実施した。

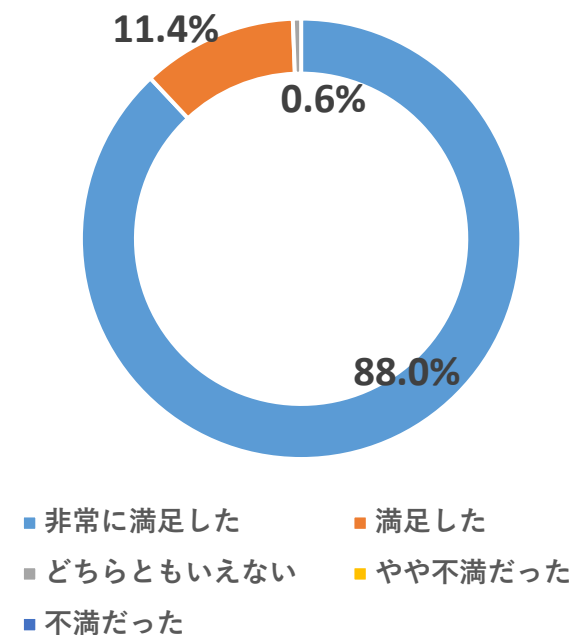
活動についての満足度



種目	実施回数	高倉中	桜宮中	都島中	淀川中	友渕中	合計 参加人数
卓球	5	6	2	0	0	5	13
テニス	6	0	0	14	3	3	20
陸上競技	4	0	1	2	0	3	6
水泳	5	3	0	10	1	4	18
ダンス	4	0	10	0	0	3	13
軟式野球	0	0	0	0	0	0	0
トレーニング	7	0	0	2	0	10	12
漫画・イラスト	9	10	1	11	6	2	30
書道	0	0	0	0	0	0	0
プログラミング	9	0	6	0	3	8	17
e-スポーツ	9	4	4	0	0	5	13
合計	58	23	24	39	13	43	142

数値はのべ人数

活動についての満足度

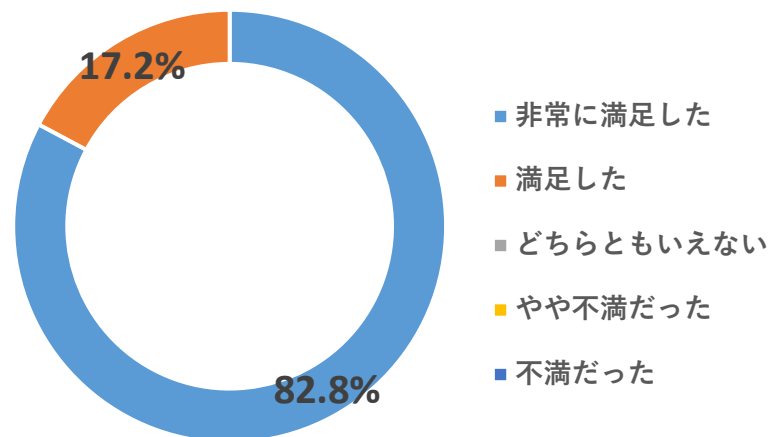


軟式野球、書道では、参加人数が集まらず活動が中止となることがあった。全体的に参加率があがらず、少人数での実施なども多かった。漫画・イラストについては、都島区では二ースの高い取組となった。水泳では民間施設を今年度も活用することができた。アンケートの結果では『非常に満足した』が88%、『満足した』が11.4%の結果であり参加生徒からは高評価の結果であった。

種目	実施回数	都島区内 中学校	北区内 中学校	福島区内 中学校	旭区内 中学校	合計
						参加人数
みんなの水泳教室	1	0	2	5	1	8
柔道	1	0	1	0	0	1
ボート	4	4	6	0	4	14
男子バレーボール	1	2	0	0	0	2
ボッチャ	3	0	3	0	0	3
合計	10	6	12	5	5	28

数値はのべ人数

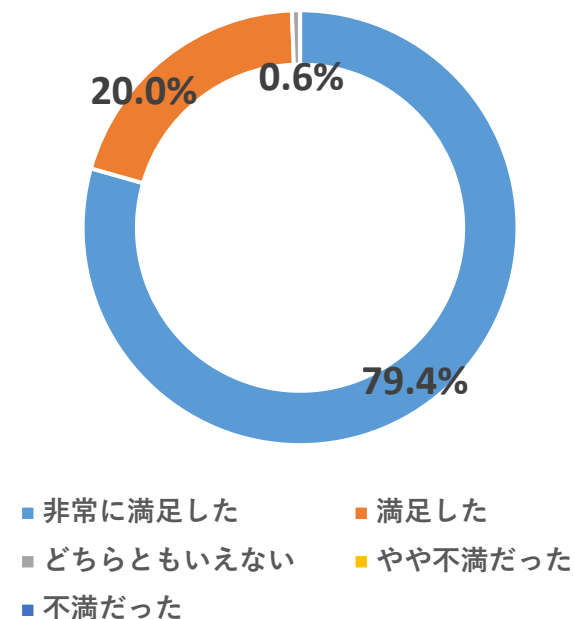
* 都島区SAKURAクラブ 活動についての満足度



「みんなの水泳教室」では、泳ぐことが得意ではない生徒も頑張って参加し、短時間ではあったが大きな成果を感じる取組となっていた。水泳部の生徒にとっても普段とは違う水泳の楽しさを実感していた。高校（府立桜宮高等学校）との連携企画や「ボッチャ」も含め、参加生徒のアンケート結果からは『非常に満足した』割合が約83%と満足度の高い取組となった。

種目	実施回数	堀江中	西中	花乃井中	中之島中	合計
						参加人数
バレーボール	9	16	0	9	24	49
卓球	4	9	2	1	4	16
陸上競技	6	5	0	4	2	11
水泳	5	19	2	19	17	57
ダンス	8	0	0	0	34	34
バドミントン	6	14	0	1	55	70
トレーニング	4	1	0	6	15	22
プログラミング	4	2	0	2	24	28
漫画・イラスト	7	6	0	4	29	39
書道	5	4	0	0	3	7
軽音	5	12	0	8	17	37
合唱	4	0	0	0	8	8
合計	67	88	4	54	232	378

活動についての満足度



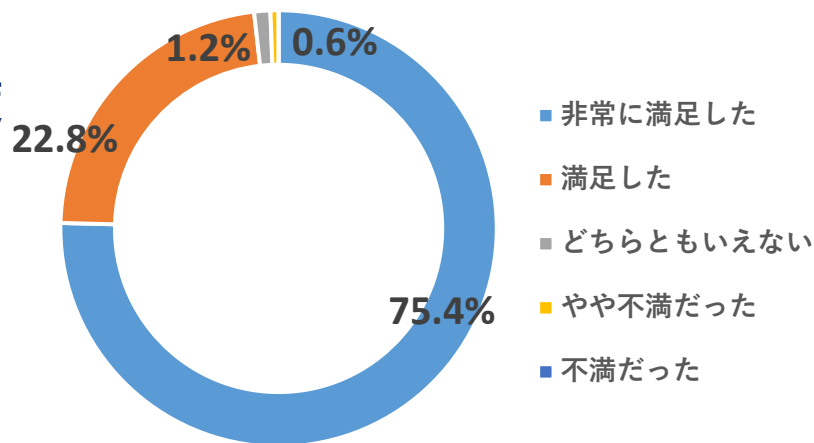
数値はのべ人数

水泳や卓球、軽音など、地域の民間施設を活用しての取組を実施した。西区においては、参加生徒が集まらず中止になった回数も4回と少なく、プログラミング、書道、漫画・イラスト・軽音・合唱など多くの文化芸術活動を実施することができた。

アンケートの結果においても、満足度の高い結果であった。

種目	実施回数	西区内 中学校	北区内 中学校	港区内 中学校	大正区内 中学校	浪速区内 中学校	合計
							参加人数
バスケットボール	1	16	9	0	0	0	25
陸上	1	15	0	10	1	5	31
プログラミング	5	3	15	0	0	0	18
漫画・イラスト	2	2	5	0	0	0	7
eスポーツ	6	35	31	0	0	0	66
ボッチャ	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	71	60	10	1	5	147

* 西区SAKURAクラブ
活動についての満足度

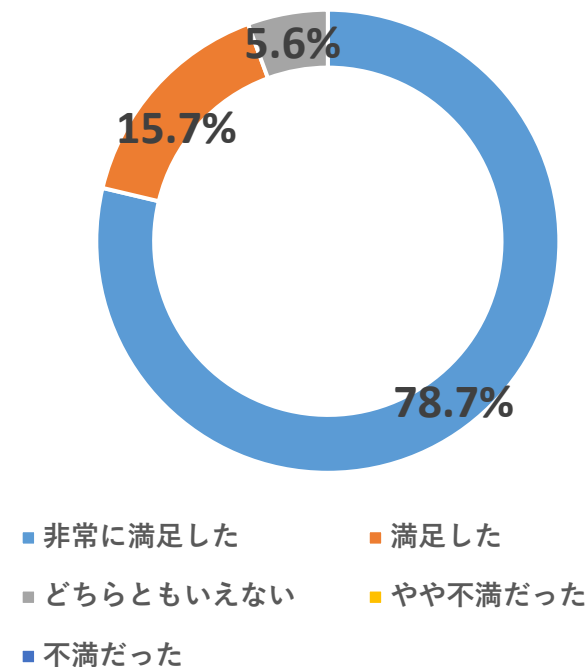


数値はのべ人数

バスケットボールではJBA×安藤財団×本市、陸上ではJAAF×安藤財団×本市が連携し、トップアスリート指導会を実施した。トップアスリートとの交流に参加生徒たちも目を輝かせ活動していた。また、e-スポーツでは区の協力もあり地域の専門学校と連携し、充実した施設のもと活動を実施することができた。どの活動においても満足度の高い取組となっている。

種目	実施回数	矢田中	矢田南中	矢田西中	校下小学校6年生	合計
						参加人数
サッカー	2	32	2	0	0	34
バスケットボール	1	0	1	0	0	1
女子バレーボール	6	32	0	2	1	33
バドミントン	10	41	15	5	7	68
卓球	4	0	0	5	2	7
柔道	0	0	0	0	0	0
少林寺拳法	14	0	0	29	6	35
ダンス	14	30	0	34	45	109
トレーニング	0	0	0	0	0	0
ピククルボウル	0	0	0	0	0	0
漫画・イラスト	5	4	0	0	9	13
書道	4	0	0	4	0	4
合計	55	139	18	79	70	361

活動についての満足度

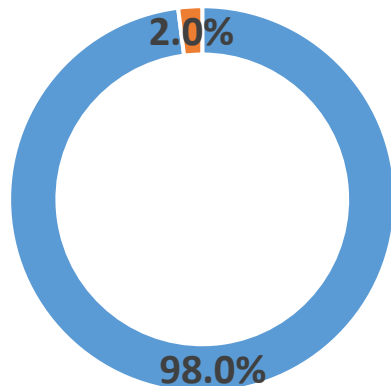


数値はのべ人数

矢田3中学校と校区内の4小学校は以前から学校間連携を推進しており、今年度のについても小学校6年生についても参加対象とした。学校部活動種目の実施においては、会場校の部活動生徒が参加し、学校部活動展開型として活動している。一方、漫画・イラストや書道など学校部活動にはない種目も実施した。1月にピククルボウルを企画したが、残念ながら参加者が集まらず中止となった。

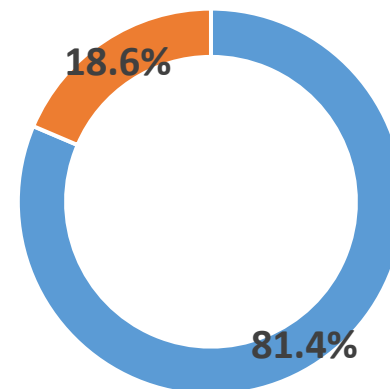
どの拠点においても「また参加したい」と回答した生徒が多い結果となった。今後も活動を振り返り改善に活かしていく必要がある。

<東淀川区>



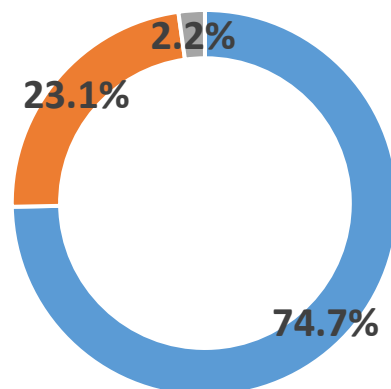
■ 今後も参加したい ■ わからない ■ 参加したくない

<都島区>



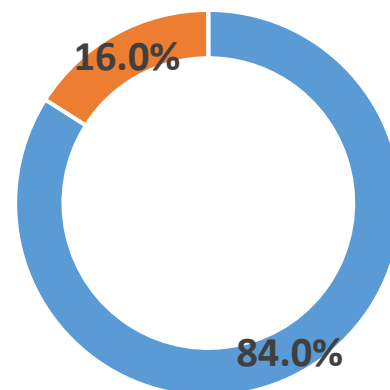
■ 今後も参加したい ■ わからない ■ 参加したくない

<西区>



■ 今後も参加したい ■ わからない ■ 参加したくない

<東住吉区>



■ 今後も参加したい ■ わからない ■ 参加したくない

	東淀川区		都島区		西区		東住吉区		合計	
	主	副	主	副	主	副	主	副	主	副
社員	1	2	0	0	0	0	0	0	1	2
一般	12	8	13	16	13	23	5	5	43	52
学生	0	0	0	7	0	9	0	4	0	20
兼職兼業教員	0	0	1	0	1	0	5	1	7	1
部活動指導員	0	0	0	0	1	0	2	4	3	4
本市人材バンク登録者	0	0	1	0	1	0	1	0	3	0
合計	13	10	15	23	16	32	13	14	57	79

（主：主任指導者・副：副主任指導者、数値はのべ人数）

- ・ 東淀川区80回、都島区80回（SAKURAクラブ10回）、西区80回（SAKURAクラブ10回）、東住吉区80回 合計320回実施
- ・ 各回に主任指導者、副主任指導者を配置
- ・ 兼職兼業教員 8 人、部活動指導員 7 人、本市人材バンク登録者 3 人が従事

➤ 新しい体験と挑戦

- ・「生まれて初めてe-スポーツをやったが、こんなに面白いとは思わなかった。今後もやってみたいと思った。」
- ・「卓球は得意ではないが、とても楽しかった。好きになるきっかけになりました。また来たいと思います。」
- ・「ハモリを普段しないので難しかったが、最後にはかなり歌えたと思う。期待していた以上に楽しかった。」

➤ 交流とコミュニケーション

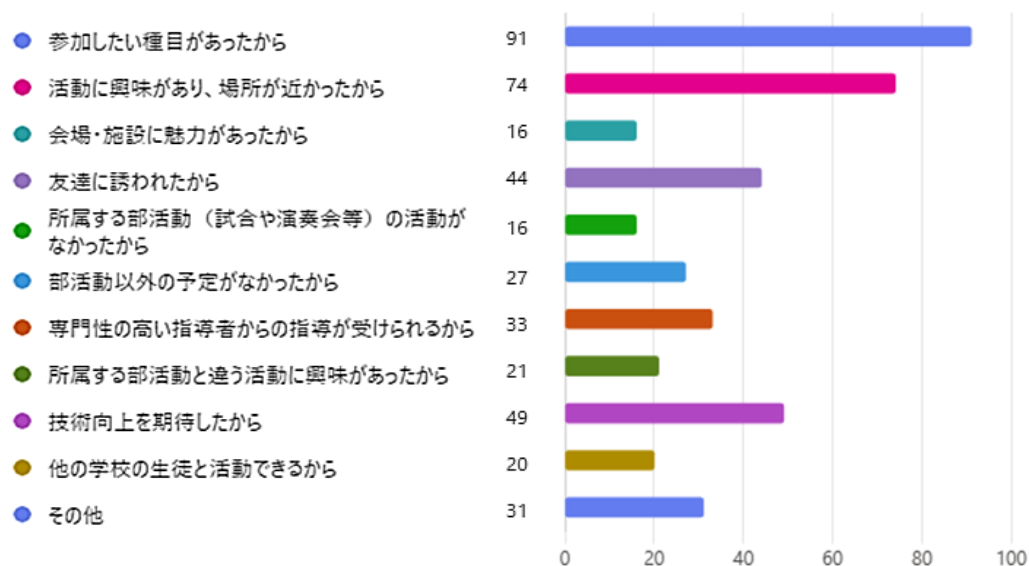
- ・「先生たちがていねいにおしえてくれたおかげでたのしくダンスができた。」
- ・「6年生も、1年生もめっちゃ上手かったし、自分も細かい所を成長することが出来て良かったです。」
- ・「今後、みんなで1つのイラストを紙にもしてみたい。」

➤ 学びと成長

- ・「今回プロの選手に教えてもらうことができたので、今回学んだことを部活の試合で生かしたい。」
- ・「自分の苦手な部分を質問できてよかった。新たな練習方法を知れてよかった。」
- ・「コーチが分かりやすく何度も教えてくれて分かった。」

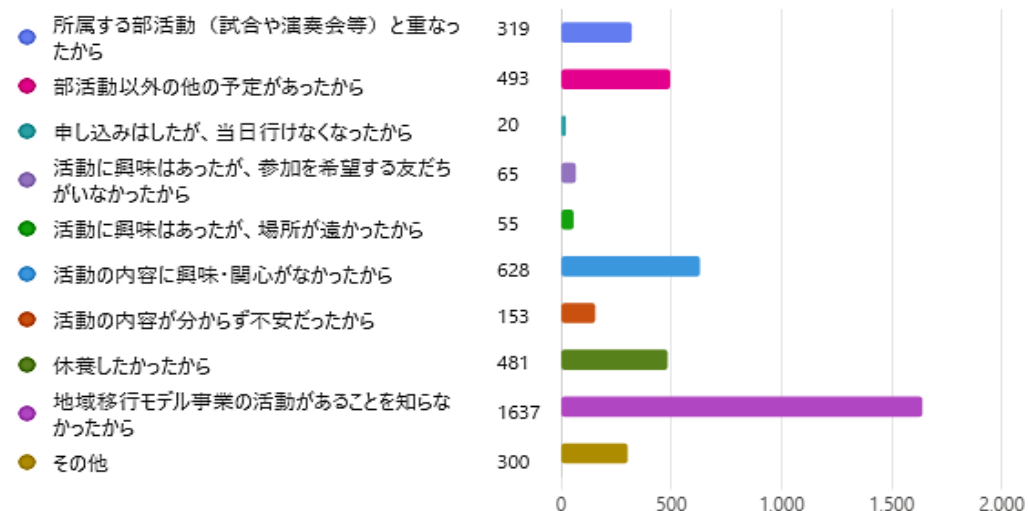
モデル事業に参加した理由

(回答人数 208人)



モデル事業に参加しなかった理由

(回答人数 3443人)



- モデル事業を実施した学校の生徒全員を対象に事後アンケートを実施

- 参加の理由**としては、「参加したい種目があったから」「活動に興味があり、場所が近かったから」などが上位となった。

- 不参加の理由**としては、「モデル事業の活動があることを知らなかったから」という理由が1番多かった。

- 生徒、保護者への周知として対象校全生徒に案内チラシの配布および、「ミマモルメ」等により周知活動を行った。

課題・改善点について

➤ 周知とアプローチの改善

チラシ配布以外の生徒への効果的なアプローチや、周知不足解消、学校側での部活動縮小に関する周知徹底など、連携を密にする必要

➤ 部活動との両立・役割の明確化

既存の部活動と地域クラブの両立は難しいため、活動時間の重なりや位置づけの整理や学校の一部としての活動ではなく、学校との差別化を図り、参加人数を増やすための戦略的な協力体制が必要

➤ 時期と種目の工夫

水泳であればオフシーズンに合わせた実施時期を設定するなど、種目の特性に応じた適切な時期・場所の選定が必要

➤ 事前情報の不足

実施に関する詳細な情報が事前に十分提供されるよう改善を求める

➤ 評価指標の確立

まだサンプルが少なく評価が難しい段階にあるため、継続的なデータ収集とそれに基づいた検証・改善サイクルを確立することが今後の課題

➤ 実施の評価・継続・拡大への期待

「大阪市全体に広げてはどうか」

「参加者が少ない中、よくやっていただいている」

■ 期待・満足

- ・「バレー未経験で一人参加だったが、高校生が盛り上げてくれてとても楽しかったようだ。」
- ・「既存の輪に入るのではなく、新規参加者がしり込みしないよう丁寧に教えてくれた。」
- ・「トップアスリートと同じグラウンドに立ち、一緒に走れたことは一生の宝物。」
- ・「プロのリアルな体験談を聞いて刺激を受け、その後テレビで見かけて娘と歓喜しました。」
- ・「高額で諦めていたプログラミングに無料で参加でき、本当に喜んでいる。」
- ・「今まで知らなかった練習法を学び、部活の仲間にも共有して取り入れることができた。」
- ・「専門の先生に指導を受け、発表会にも参加できたことが非常に良い経験になった。」

■ 課題・要望

- ・「回数が少なすぎる。上達するところまで見てもらえないのが惜しい。」
- ・「とにかく回数が欲しい！次回の開催を常に楽しみにしているからこそ残念。」
- ・「家族旅行の予定やテスト期間と重なり、日程が合わないことが多かった。」
- ・「複数受講していても開催日が重なっており、どちらかを諦めるのが残念だった。」
- ・「女子は娘一人で、他は男子だけ。体力差・能力差がありついていくのが難しかった。」
- ・「本人合わせて2人しか参加者がおらず、期待していた交流の場とはならなかった。」
- ・「雨天中止の際の代替案(振り替えや屋内活動)が欲しかった。」

R7 目標

本事業の
理解促進認知度アップに向け周知活動の促進
参加生徒数の確保

内容の充実

多様な種目の設定
文化芸術活動の充実

環境の整備

施設利用の調整



R7 結果

- 今年度も対象となる中学校の生徒の認知については上げることができなかった
- 参加生徒数の昨年度との比較

参加生徒数 比較	R6	R7
東淀川区	436人	482人
西区	160人	378人
都島区	96人	142人
東住吉区	249人	361人

(都島区・西区・東住吉区は
昨年度と実施回数が異なる)

昨年度との比較(4拠点合計)

- 種目数 昨年度39種目 ⇒ 今年度53種目
- 新設種目 9種目
- 文化芸術活動種目数
昨年度10種目 ⇒ 今年度13種目

- 区・地域の専門学校と連携し、専門学校施設を活用したe-スポーツの実施
- 地域の施設を活用した活動
卓球センター、音楽スタジオ、漫画イラスト教室

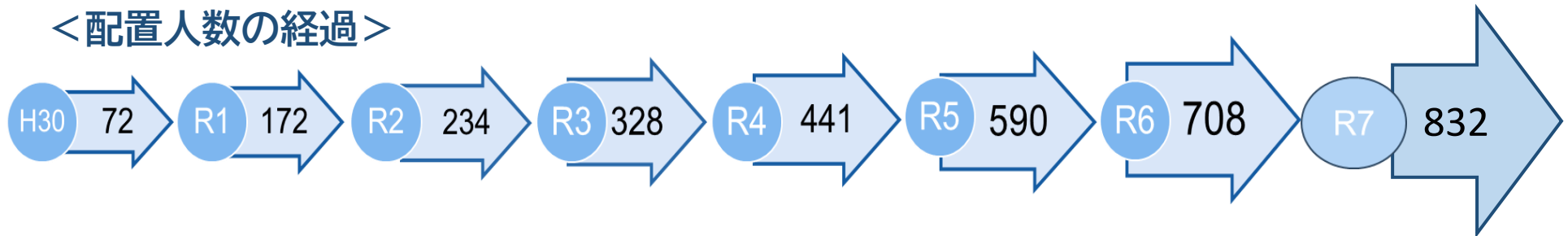
課題		改善ポイント
本事業の 理解促進	周知活動の促進 認知度アップ 参加生徒数の確保	➤ 余裕をもったスケジュールでのチラシ配布 ➤ 対象区を近隣区に拡充することで周知促進 ➤ R7では開催が中止となった種目もあり、R8は全プログラムにおいて近隣区からの参加を可能とすることにより、参加生徒の確保をねらう
内容の充実	拠点の新設	➤ 中之島拠点の新設し、土日に部活動がない中之島中学校において年間80回の実施(種目×回数) ➤ 体育館・運動場等の利用について、1か月以上前から開催日時を決定できる ➤ R7の参加実績からも、中之島中からたくさんの生徒が参加しており、生徒や保護者の感想からも回数拡充の声があがっている
環境の整備	施設利用の調整	➤ R7の拠点校での活動を基本としつつ、R8から参加可能となる学校の施設利用協力校の発掘 ➤ モデル事業対象校以外の地域施設の積極的な活用

1-⑨ 地域連携～部活動指導員、複数校合同チーム・拠点校方式 27

学校部活動の地域連携の取組

- 部活動指導員・・・平成30年度から順次拡大
教員に代わって顧問として指導・引率できるスタッフの配置による顧問教員の負担軽減
専門的なスキルを持つスタッフの指導による部活動指導の質の向上

<配置人数の経過>



令和7年度(R8.2月現在) 1606部活動、部活動指導員配置832人、部活動全体の52%に配置

※**運動部**678人/1041部(**65%**)、**文化部**154人/565部(**27%**)

- 合同・拠点校方式の大会参加状況<<令和7年度春季総体参加>>

複数校合同チーム (組んだチーム=T)

- ・軟式野球 6T(15校) ・ラグビー 8T(30校)
- ・ソフトボール 2T(5校) ・サッカー 9T(20校)
- ・バドミントン 1T(3校) ・バスケットボール 4T(9校)
- ・ハンドボール 1T(2校) ・バレーボール 2T(4校)

拠点校方式での部活動チーム(組んだチーム=T)

- ・水泳 2T ・サッカー 4T ・ダンス 1T
- ・ハンドボール 4T ・バレーボール 1T ・剣道1T

(参考)地域スポーツ団体

- ・陸上 3 ・サッカー 1 ・柔道 4 ・バレーボール 3

2 「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の策定を受けて

改革の理念等

R7.12 部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要【抜粋】

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって**生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**
- 障害のある生徒や運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含め、**全ての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備**
- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展**させつつ、地域全体で支えることによる**新たな価値を創出**

取組方針

休日	改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す ※現時点で着手していない地方公共団体も、 前期の間に確実に休日の地域展開等に着手 （中山間地域や離島等で困難な場合は当面、部活動指導員の配置等を推進）
平日	各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進 （まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証） ※学校部活動をベースとした地域との連携など、 地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要

部活動の在り方

- 適切な運営のための体制整備（方針策定、指導員配置、合同部活動、勤務時間管理等）
- 適切な指導及び安全・安心の確保（不適切行為の根絶、事案発生時の迅速な対応、過度な練習防止等）
- 適切な活動時間・休養日等の設定
- 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

改革期間

改革実行期間(前期)

改革実行期間(後期)

中間評価

R8

R9

R10

R11

R12

R13

令和8年度から新たに「改革実行期間」がスタートすることを踏まえ、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実等を図るため、**部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての考え方を示すもの**

※公立中学校等が主な対象（「Ⅳ 学校部活動の在り方」については、国立・私立を含めた中学校及び高等学校等が対象）

I 部活動改革の基本的な考え方・方向性

- 1 改革の理念
- 2 取組の類型・名称（地域展開・地域連携）
- 3 改革の方向性
 - （1）基本的方針
 - （2）改革期間及び取組方針（休日・平日）
 - （3）留意事項

II 地域クラブ活動の在り方及び認定制度

- 1 地域クラブ活動の在り方
- 2 地域クラブ活動に関する認定制度 ※詳細は別冊資料①を参照
 - （1）趣旨
 - （2）想定される認定の効果
 - （3）認定制度の概要（認定要件・認定手続等）
 - （4）認定されていない地域クラブ活動の取扱い

III 地域展開の円滑な推進に当たっての対応

- 1 推進体制の整備
 - （1）地方公共団体における体制整備
 - （2）国・都道府県・市区町村等・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の役割分担
 - （3）地域クラブ活動の運営団体・実施主体による生徒が所属する中学校等との連携
 - （4）関係団体等・大学・民間企業との連携
- 2 各種課題への対応
 - （1）運営団体・実施主体の整備等
 - （2）指導者の確保・育成
 - （3）活動場所の確保
 - （4）活動場所への移動手段の確保
 - （5）生徒の安全・安心の確保
 - （6）障害のある生徒の活動機会の確保
- 3 生徒のニーズの反映及び地域クラブ活動への参画促進等

IV 学校部活動の在り方

- 1 適切な運営のための体制整備
 - （1）学校部活動に関する方針の策定等
 - （2）指導・運営に係る体制の構築
- 2 適切な指導及び安全・安心の確保
 - （1）暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶
 - （2）合理的かつ効率的・効果的な活動の推進
 - （3）競技ごとの指導手引きの普及・活用
- 3 適切な活動時間・休養日等の設定
- 4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

V 大会・コンクールの在り方

- 1 生徒の大会等の参加機会の確保
- 2 大会等への参加の引率や運営に係る体制の整備
 - （1）大会等への参加の引率
 - （2）大会等の運営への従事
- 3 生徒の大会等の安全確保
- 4 全国大会をはじめとする大会等の在り方

VI 関連する制度の在り方

- 1 教師等の兼職兼業
- 2 教師の人事における学校部活動の指導力の評価等
- 3 高等学校入学者選抜における学校部活動・地域クラブ活動の取扱い

別冊資料

- ①地域クラブ活動に関する認定制度（指導者登録制度を含む。）
- ②部活動の地域展開等に関する参考資料

2-②「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」 31

各課題への対応

課題	ガイドライン	本市
1 運営団体・実施主体の整備等	・運営に関するサポート体制の整備、運営を担う人材の確保・育成 ・組織体制・財政基盤の整備 ・ICT活用による運営業務の効率化	地域展開モデル事業 部活動指導員
2 指導者の確保・育成	・多様な人材の発掘・マッチング・配置 ・適切な資質・能力の保障、人材育成 ・平日(学校部活動)と休日(地域クラブ活動)の一貫指導 ・ICTの効果的活用	部活動指導員
3 活動場所の確保	・活動場所の確保 (学校施設等の有効活用) ・活動場所の管理運営の効率化等	学校施設・地域施設 地域展開モデル事業
4 活動場所への移動手段の確保	・既存の送迎車両の有効活用 ・地域公共交通との連携等 ・多様な政策分野との連携・協働等	徒歩・自転車 公共交通機関
5 生徒の安全・安心の確保	・事故や暴力・暴言・ハラスメント等の不適切行為の防止 ・責任の所在の明確化、事後対応・再発防止 ・生徒及び指導者の保険への加入	教員・部活動指導員へ研修の実施 委託事業者による地域クラブ指導者へ研修の実施
6 障害のある生徒の活動機会の確保	・多様な地域の関係者の参画 ・指導者の資質能力の向上 ・新たなスポーツ・文化芸術活動機会の確保	地域展開モデル事業

部活動指導員悉皆研修

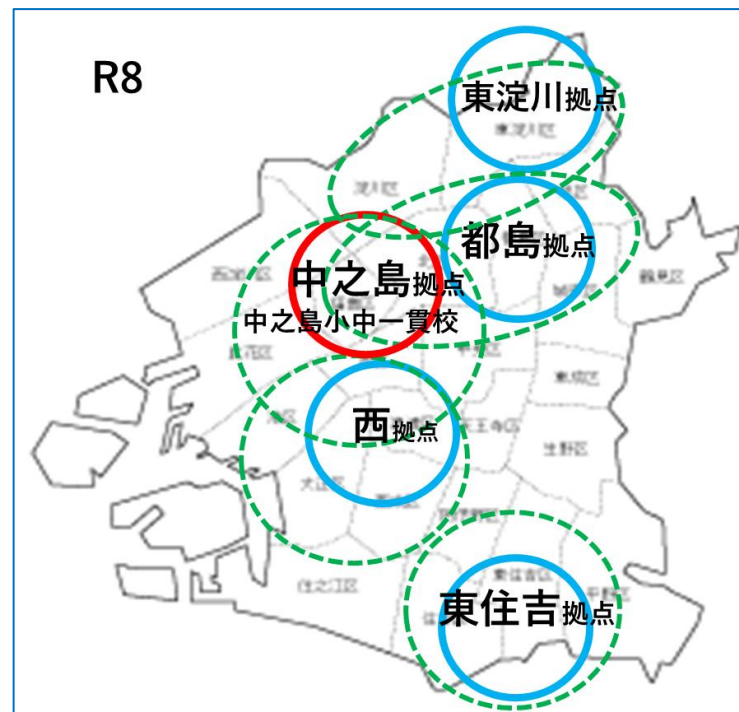
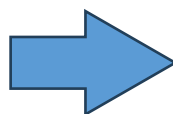
- 第1回 「コンプライアンス研修」
「大阪市部活動指針～プレイヤーズファースト～」
- 第2回 「熱中症予防について」
- 第3回 救命救急講習の受講
- 第4回 「事故防止研修」
- 第5回 「体罰暴力行為等防止研修及び人権研修」

学生の部活動指導員研修

- 第1回 「人権意識を高めるために」 ※発令前研修
 - 第2回 「部活動運営について」「部活動指導について」
- ※R7年度 全体の約40%が大学生(年代)の部活動指導員

- 部活動指導員全員に採用後、研修等を実施
- 学生の部活動指導員については、実績が少ないため、さらに研修会を実施

3 来年度に向けて



モデル事業	R5	R6	R7	R8 予定
拠点	4	4	4	5
対象校	26校	27校	45校	64校
対象区	7区	7区	10区	12区
広域企画	1	1	2	5
実施回数	102回	210回	320回	200回

令和8年度事業の概要について

活動期間： 1学期より活動スタート～令和8年12月末まで

拠 点： ★東淀川拠点(瑞光中、井高野中、大桐中 + 近隣区 東淀川区・淀川区・旭区)

★都島拠点(都島区全5中 + 近隣区 北区・福島区・旭区)

★西拠点(西区全3中学校 + 近隣区 港区・浪速区・大正区)

★東住吉拠点(矢田中、矢田南中、矢田西中 + 近隣区 東住吉区・住吉区)

★中之島拠点(R8より新設 中之島中 + 近隣区 西区・福島区・北区)

実施内容：①これまでの4拠点については 各区 年間30回(種目×回数)

②中之島拠点 年間80回(種目×回数)

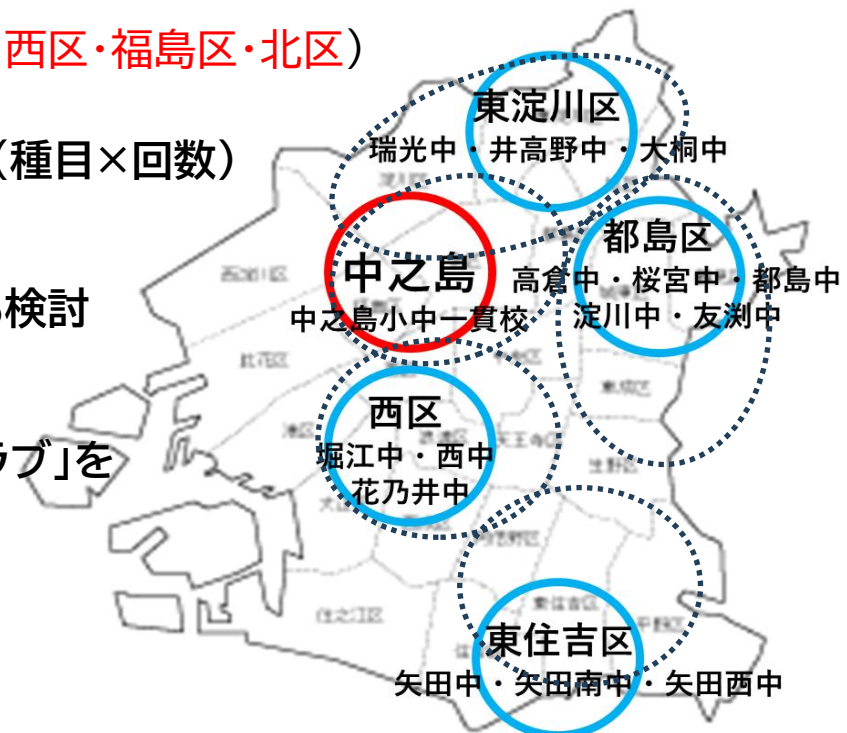
※ 各拠点とも多様な体験活動や学校部活動にない種目等も検討

※ 各拠点とも広域(近隣1～3区程度拡充)での募集

※ 都島拠点・西拠点・中之島拠点は特別企画「SAKURAクラブ」を
各5回程度実施

対象生徒:対象中学校に在籍する生徒の希望者

活動時間：2時間程度／1回



今後の部活動のあり方について

1 現状の課題と教員の負担

- ・教員の仕事から部活動を完全に切り離すべきである
- ・ボランティア精神に頼った現状の運営には限界が来ている
- ・給料面や特殊勤務手当など、処遇改善が追いついていない
- ・全ての地域で一律に進めるのは難しい(現状、地域移行は厳しい)
- ・「学校から切り離さないでほしい」

2 生徒たちへの視点(教育的意義)

- ・技術面だけでなく、生徒指導の一環としての側面も無視できない
- ・塾や習い事で忙しい生徒の実態に合わせた活動時間(下校時間の明確化)が必要
- ・「やりたい生徒が、やりたい場所で」できる環境整備が求められる
- ・大人の都合だけでなく、子どもたちが「より良い環境で活動できるか」という視点が必要

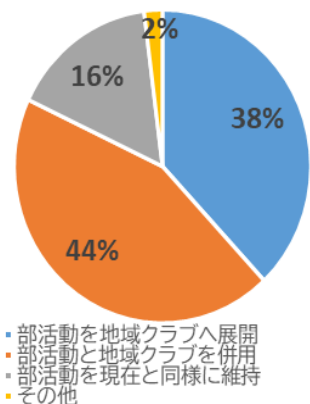
3 具体的な解決策と今後の展望

- ・部活動を切り離し、生徒がより専門的かつ健全に活動できる機会を確保してほしい
- ・専門的な外部指導員(部活動指導員)の配置
- ・教員の副業を可とし、希望者が指導に回れる柔軟な仕組み作り

＜部活動の今後の方向性に関する現場教員の認識＞

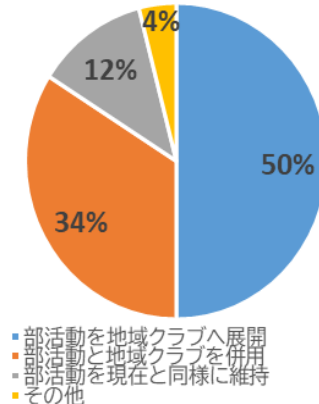
- ◆ 「地域クラブへ展開すべきと考える」教員が39%
- ◆ 昨年度まで選択肢が「部活動を現在と同様に維持」から今年度「教職員の負担軽減等を推進しながらも部活動を継続」に変更したところ、12%から31%に大幅に割合が増加
- ◆ 教職員の負担軽減が推進されれば学校部活動の教育的意義も踏まえ、部活動の継続に肯定的な意見も一定数ある

R5 モデル校教員現状認識



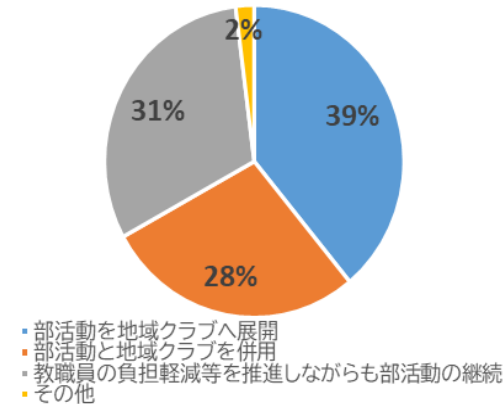
132名

R6 モデル校教員現状認識



182名

R7 モデル校教員現状認識



158名



部活動指導員等に関するご意見

【効果・期待】

- 部活動指導員の配置については、**一定の効果を認める**
- 教員の負担軽減に繋がっており、部活動指導員の**配置に感謝**
- 今後の部活動の地域展開を踏まえ、さらなる**部活動指導員の充実、確保**を期待

【課題・要望】

- 部活動指導員としての指導力はもとより、教職員の一員としての**責任感や意識の向上が必要**
- **教員が勤務時間外は部活動指導員として兼業**できるようにしてほしい
- **民間委託のシステム**を進めるべき
- **部活動指導に熱意を持つ若手教員が活躍できるしくみ**が必要

本市の特徴・強み

第1回有識者会議資料より

- 全国的にみても多数の部活動指導員(人材バンク)を確保できている
⇒**教員の負担軽減を推進（令和7年度832部活動に配置）**
- 地域展開等をした際にも部活動指導に携わりたい教員が4割程度いる
（「条件による」が3割） 約1600部活動の主顧問のうち約4割が指導を希望＝640人
⇒**生徒や保護者の安心につながる**
- この先10年をみても今の生徒数の1割程度も減少しない想定
⇒**急激な少子化ではないため、部活動の継続は可能**
- 学校間の距離が近く、保護者等の引率の必要なく安全に移動できる
⇒**少子化の進展している地域において、合同部活動・拠点校方式による部活動が実施しやすい**

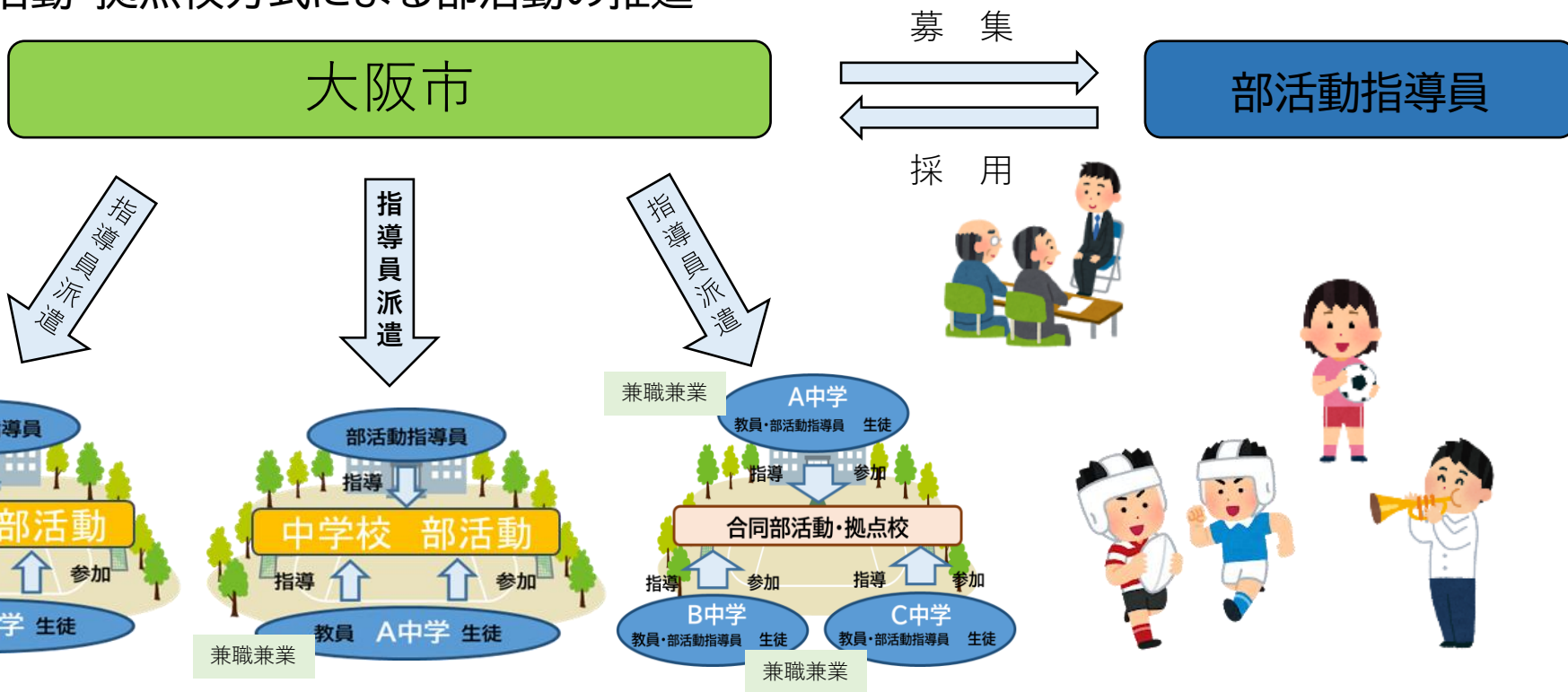
休日について(案1)

● 現 学校部活動【地域連携】

教職員の指導による休日の部活動は実施しない

指導者については、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展すべく、部活動指導員を中心に、指導を希望する教員(兼職兼業)の参加を検討

合同部活動・拠点校方式による部活動の推進



休日について（案2）

第1回有識者会議資料より

● 休日における地域クラブ活動【地域展開】

大阪市の生徒の活動機会の確保を主目的とした地域クラブ活動（仮称）に向けて
～部活動指導員も地域クラブ指導者として活用した業務委託による地域展開等～

大阪市



事業者



部活動指導員
を活用

指導
中学校

指導 参加
兼職兼業 教員 A中学 生徒

部活動指導員
を活用

指導
中学校

指導 参加
兼職兼業 教員 A中学 生徒

部活動指導員
を活用

指導
中学校

指導 参加
兼職兼業 教員 A中学 生徒

指導への従事を望む教
職員について、兼職兼業
も含め検討

今後の方向性

第1回有識者会議資料より

- 改革実行期間中に教職員の指導による休日の部活動は実施しないことをめざす
- 指導者については、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展※すべく、「地域展開(案2)」が実現された際にも、部活動指導員が地域クラブ指導者として従事することを想定(部活動指導員へのアンケート調査より、人材バンクに登録されている9割以上の方が地域クラブ指導者となることを希望)

また、指導を希望する教員(兼職兼業)の参加を念頭に検討

- 新たな価値の創出※として、多様な体験活動等の充実の実現に向けた継続した取組が必要

理念1:「生徒が継続的にスポーツ等に親しむ機会を確保・充実」のため

第1回有識者会議資料より

- 現行の部活動を継続的に実施できる環境整備
 - 少子化が進む地域があれば、合同部活動や拠点校方式を実施
 - 指導者がいない場合等は、部活動指導員を配置
- 生徒のニーズに応じた多種多様な体験活動(地域クラブ)の機会を確保
 - モデル事業で実施してニーズのあった種目等を地域クラブとして展開

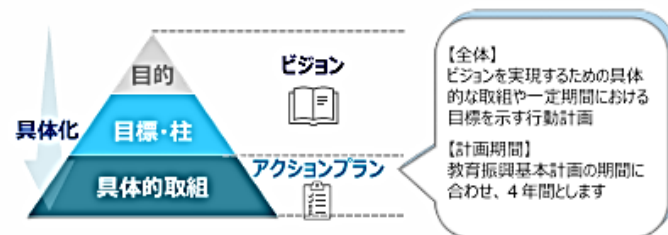
理念2:「教員の負担軽減」のため

- 教員の指導による休日の部活動は実施しない
 - ①「地域連携(案1)」学校に部活動指導員を配置し、部活動指導員のみで実施
 - ②「地域展開(案2)」業務委託による部活動の地域展開

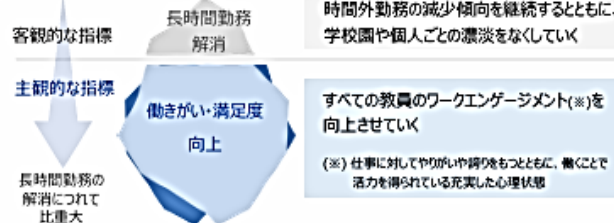
「地域連携(案1)」から「地域展開(案2)」への展開を見据え、今後も部活動指導員の配置を拡充し、部活動指導員のみで活動を実施 ⇒教員の負担軽減

部活動指導員を確保することで、「地域連携(案1)」の際は指導者として、「地域展開(案2)」の際は部活動指導員を地域クラブの指導者として指導者不足の課題解消を図る

ビジョンとの関係



目標



アクションプラン【令和11年度末の目標】

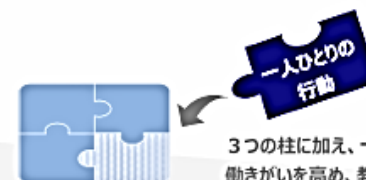
教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間
中学校30時間以下、幼稚園・小学校20時間以下

<モニタリング事項>
・健康への影響が懸念される時間外勤務
・ストレスチェックの総合健康リスク

働きがい・満足度向上に関する目標（令和8年度中に設定）

令和8年度から実施するワークエンゲージメント調査を踏まえ、関係する各指標の向上をめざします。

3つの柱と主な取組



3つの柱に加え、一人ひとりの主体的な行動で働きがいを高め、教職の魅力を向上

◆学校園を通じたチラシ等配付方法の見直し

教員による配付作業等の負担を軽減するとともに、保護者等の利便性向上のため、イベントチラシ等の配付依頼については、原則として市HP内の専用ページに掲載する運用とし、紙による配付は行わないこととします。

◆通話録音装置、音声ガイダンスの導入

現在導入している時間外の音声応答装置に加え、令和8年度から教員の心理的負担の軽減や電話対応能力の向上を目的として通話録音装置を、電話対応の効率化を目的として音声ガイダンスを順次導入します。

◆休日における部活動の地域連携・地域展開等

国の方向性を踏まえ、令和11年度以降の休日の部活動においては、地域連携・地域展開等の実現をめざしています。実現に向けて、部活動指導員を拡充するとともに、制度や指針の改定を行い、顧問教員の負担を軽減します。

その他の取組

- ・欠席連絡等アプリや採点支援システムの運用
- ・授業時数、定期考
- ・スクールサポートスタッフ、ワークライフバランス支援員の配置
- ・若手教員への組織

◆本務教員による欠員補充制度（特別専科教諭の配置）

特別専科教諭は、年度当初の勤務校では学級担任をもたず、専科指導や副担任、授業補助を中心に受け持ち、年度途中で欠員が発生した場合には、その学校へ代替教員として配置され、学級担任などの業務を担います。新規採用者の一部を年度途中の欠員補充要員として配置しており、新規採用者が先輩教員から知識や技術を習得する機会にもなっています。

◆学校園における課題解決への支援

スクールロイヤー事業を活用した法的・心理的視点での助言やこれまでの事案をもとに対応する際の要点等を示した事例集の配付、課題に応じた研修実施などによる学校園における課題解決力の向上に取り組みます。また、保護者の過剰な要求など学校だけでは解決が難しい事案について、教育委員会事務局による助言や保護者等への直接対応等、学校園を支援する新たな仕組みを検討します。

◆キャリアプランに応じた人材育成と教員の自己実現の支援

キャリアステージや課題に応じた研修を実施し、教員の専門性を高めるとともに、意欲的に職務に取り組み、自身の成長を実感できる教員の育成を図ります。また、研修で得た知見を学校組織全体で共有・活用し、互いに高め合い学び合う教員集団づくりをめざします。

◆働き方改革に関する好事例の共有

各学校園における働き方改革に関する好事例を共有することで、各学校園がより効果的に取組を進められるようにするとともに、管理職の意識啓発を行います。

◆職場におけるハラスメントの防止対策

ハラスメントの起こらない職場環境形成のため、ハラスメント防止に関する知識や、管理職が相談を受けた際に適切に対処できるような知識を向上させる研修を、令和8年度から実施します。

◆休日における部活動の地域連携・地域展開等

国の方向性を踏まえ、令和11年度以降の休日の部活動においては、地域連携・地域展開等の実現をめざしています。実現に向けて、部活動指導員を拡充するとともに、制度や指針の改定を行い、顧問教員の負担を軽減します。

部活動指導員の配置

学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】より

【行動計画】

～令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
部活動指導員 650名配置	部活動指導員 800名配置	部活動指導員 950名配置	部活動指導員 1100名配置	部活動指導員 1221名配置

部活動指導に(少しでも)負担を感じている教員は76%
1,606部活動のうち76%への配置が必要 ⇒ 1221人

教員アンケート(R7.5月)より

休日における部活動の地域連携・地域展開

【行動計画】

～令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
・休日の地域連携・ 地域展開に向けた 調査 ・モデル事業を実施 (320コマ)	休日の地域連携・ 地域展開に向けた 検討	休日の地域連携・地域展開に向けた 制度改正・指針改定・周知・準備		休日の地域連携・ 地域展開の実現

- **将来にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に触れる機会の確保**
 - ⇒ 学校部活動の今後の在り方についての検証
 - ⇒ 合同部活動・拠点校方式での部活動の推進
 - ⇒ 多様な体験活動機会の確保に向け、休日の部活動の地域展開モデル事業の検証
- **教職員の負担軽減**
 - ⇒ 部活動指導員の確保（種目・競技の経験者による専門的な指導）

・大会運営などは
教員が不可欠
・人材、財源 等



・国・他都市の動向の調査
・学校関係者・各種団体の意見交換
⇒ 部活動のあり方研究及び地域移行に関する有識者会議

・関係団体等へ調査、意見聴取
・各種アンケート 等



・多様な体験機会の確保
・委託業務の検証
・人材、運営、財源 等

学校部活動の取組（地域連携）

部活動指導員の配置（R8:約800人）

⇒ 拡充

合同・拠点校方式による部活動

⇒ 継続、推進

休日の新たな地域クラブへの検証（地域展開）

R5より民間事業者へ委託し、多種多様な種目も含めて検証
 拠 点：R8より5拠点(12区64校に対象拡大)
 指 導：民間社員、地域人材、部活動指導員、兼職兼業教員

生徒にとって

スポーツ・文化芸術活動の活動機会を守り、
さらなる可能性の創出

教職員にとって

休日に部活動指導に従事なくてよい環境
指導を望む教員の指導機会の確保